

会議録

会議の名称	男女平等参画推進委員会 平成20年度 第5回
開催日時	平成20年12月10日（水曜日） 午後7時から9時11分まで
開催場所	田無庁舎 102会議室
出席者	委員：池田委員、青木委員、荒井委員、蚊野委員、虎頭委員、高木委員、角田委員、中村委員、西山委員、北條委員、渡辺委員 事務局：飯島課長、寺嶋係長、岩田主査、インテージ2名 欠席：富田委員 傍聴：なし
議題	1 第4回西東京市男女平等参画推進委員会会議録の確認 2 平成19年度各課実績評価に対する各グループ事業評価等 3 市民説明会 4 その他 1. 次回 平成21年1月14日（水曜日）午後7時～9時 イング第4会議室 2. 次回以降 第2週の平成21年2月11日（水曜日）は、祝日（建国記念の日）のため、第1週の平成21年2月4日（水曜日）、第3週の平成21年2月18日（水曜日）の両日、イング第3会議室を仮押さえ 3. 平成21年3月11日（水曜日）午後7時～9時 イング第3会議室
会議資料の名称	資料No.1 第4回西東京市男女平等参画推進委員会会議録 資料No.2 西東京市第2次男女平等参画推進計画（素案） 資料No.3 平成19年度実績評価 資料No.4 実績評価の推移 資料No.5 庁内照会結果に伴う計画案変更箇所一覧 資料No.6 市民説明会資料
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
開会	<p>委員長： 時間になったので始める。</p> <p>1 第4回西東京市男女平等参画推進委員会会議録の確認</p> <p>委員長：</p>

前回の会議録の確認をする。修正等はあるか。
何もないようなので会議録は承認とする。

2 平成19年度各課実績評価に対する各グループの事業評価等

委員長：
議題に入る。事務局から報告はあるか。

事務局：
実績評価について、前回空欄で今回埋まった箇所を網掛けし、改めて配布した。また、16年度から4カ年分の評価の推移を項目ごとに示した資料を参考に配布した。

委員長：
今回記入されたところが水色で塗られている。3年間の事業評価を参考に、もう一度読み直し、コメントを加え、評価を付け直してほしい。

委員：
色分けの意味は何か。

事務局：
水色は前回空欄であった部分の追加、緑色は内容の修正が加えられた箇所である。

委員長：
各グループで評価の最終確認作業を行う。

(グループ作業)

委員長：
会議を再開する。各グループの評価の確認を行う。学びグループから願います。

委員：
メール等で確認しながら作業を行った。新たな事業評価と修正項目を受けて、若干訂正がある。2ページ下から3つ目、D評価をCにし、Cに添った評価内容にする。4ページの一番上、評価は変わらないが、文言を修正する。さらに一番下、D評価をCに変更する。5ページ上から2つ目の文言を修正する。下から2つ目、D評価をCに、文言も若干修正する。6ページの最後、D評価をCに変え、内容も若干修正する。

委員長：
特に全体で検討するところはあるか。

委員：
特にない。

委員長：

それでは、家庭生活グループをお願いします。

委員：

水色部分で、10ページの一番上、D評価をBに、4番目、D評価をBに、以下、D評価をすべてBに、文言もそれぞれ修正する。11ページの上から2番目、D評価をAに、次はD評価をCに変更する。

委員長：

評価の変更については、事務局で全体を整理していただく。
職場グループ、お願いします。

委員：

基本的に評価の変更はないが、11ページの一番下、「再就職支援のための講習会を実施する」は、産業振興課の施策であるが、計画案の31ページでは、「保育付き女性の就労準備講座の実施」となっており、重点項目で、区分は拡大である。現況と同じ内容をお願いしたいが、言葉が変わっている。生活文化課は「保育付き再就職支援講習会等の実施」が新規であり、産業振興課が重点として実施しているものと同じ項目の書き方になっている。女性の再就職、および就労準備の支援の講座をパリテと産業振興課の両方をお願いしたい。産業振興課には継続して行っていただき、生活文化課にはパリテで新たに組み込んでいただきたい。言葉の問題についてである。

委員：

生活文化課はこの表の中にはないか。

委員：

今度パリテでお願いしたい新規事業として盛り込まれている。産業振興課にお願いしたものが生活文化課に事業が移っているように見えるので、混乱があるのではないか。今回C評価であるが、ヒヤリングを行い、平成19年度は未実施・未達成だが平成20年度は実施予定という返事をいただいた。

委員長：

産業振興課の「就労準備講座の実施」と生活文化課の「再就職支援講習会等の実施」の言葉の意味の違いが以前議論になったが、何がどう違ったのか。

委員：

保育付きで女性に対する就業支援を行っていただきたいと思い、両方とも「講座」という名称で提案した。同じ言葉で紛らわしいため表現を変えられたようである。意識啓発も含めて、保育付きの再就職支援講座をパリテで行ってほしいと2つを別立てとした。

委員長：

講座と講習会の言葉の違いと、女性の就労準備と再就職支援か。

委員：

私が欠席した回に、紛らわしいということで変えられたと思う。

委員長：

同じ取り組みの名称で担当部署が異なり、拡充と新規と分けてもかまわないか。

委員：

同じ文言で全く差し支えない。保育付きの女性の就労支援の講座が開かれればよいので、新規と拡充、両方あるということだけわかればよい。

委員長：

まだ文言の修正が可能なのか。

事務局：

12月1日から1月5日までのパブリックコメントで、市民の皆様に素案を提示している。パブリックコメントを踏まえ、現行計画と今計画の整合性について、ご意見をお出ししていただければ、修正できるのではないかと思います。

委員長：

きちんと記憶していなくて申し訳ない。

産業振興課の「再就職支援講習会の実施」だが、皆が再就職をしているわけではないので、就労支援に直すか。（案）は「保育付き就労支援講座の実施」で産業振興課と生活文化課の文言を統一させていただくことでよいか。

委員：

もう一点、13ページ下から2番目をC評価とした。ヒヤリングでは、公民館は女性問題講座をがんばっているが、起業講座の開催と具体的に書かれると、公民館のニーズの優先順位から考えると達成は難しい。今年度は働くための講座で起業も組み込んでいると、担当課から返答があった。

委員長：

計画そのものの見直しには連動せずに、実情を理解しておけばいいということか。

委員：

計画案の35ページに「起業情報の提供や講座の開催」がある。情報の提供なら出来るということで、公民館を残しておいてもいいのかどうかは、後で議論になると思う。

事務局：

この件については「情報の提供」という言葉を今回新たに追加した。個別ヒヤリングの際に、講座だけだと限界があるということで、あえて言葉を付け加え公民館を残すこととした。

委員：

それならばよい。判定する際に公民館から起業講座だけだと難しいと説明があった。

委員長：

事務局も配慮しており、情報提供で間接的な推進となるので、公民館を残していくこととする。

委員：

情報提供でパンフレットの配布、カウンターに置いたという記載は、配布部数などの記載もお願いしたい。コメントを付け加えていただきたい。

委員長：

次にまちづくりグループをお願いする。評価の修正は後日配布する。

委員：

相談がある。「省エネルギー・新エネルギーの推進」と「水循環の確保とみどりのネットワークの創出」だが、担当課の事業評価を読むと、男女平等推進計画に入れたほうがよいものか、お諮りしたい。もう一点、20ページと21ページの「関係各課」は載せたほうがいいのか。

委員長：

今のテーマの議論は後にし、グループの問題を出していただくことにする。人権グループをお願いする。

委員：

評価の変更は、23ページ下から4番目のD評価をCに、24ページの一番下D評価をBに変える。26ページ、上から3番目は未記入であり評価不能なので、評価を削除する。28ページ、下から2番目と29ページの一番上のD評価をCに修正する。

委員長：

まちづくりは評価が空欄だったので、その報告を省略した。20ページと21ページの「関係各課」だが、関係していると思うところが書くだらうという判断であったが、今までどの課も書いておらず、空欄のままでは評価できない。ここは「評価しない」で空けておくか。

事務局：

次期計画では、最低一課は書いて関係各課にするような工夫をしている。どういう項目が該当するか頭出しをしており、どこの課が関係しているか書く意識は出ると思う。次の計画では配慮した内容にしていく。

委員：

関係各課はわかるが、どこがとりまとめるか決めておかないといけない。

事務局：

その通りである。公共施設の時間延長は全庁的な課題で、タイミングよく出てこない
とどこのセクションも難しいところがある。

一方で参加環境の整備は軸になっている課があれば書けるところがある。私どもがど
この課であるか意識づけをしないとあがってこない可能性があるので、照会時の書き方
の工夫が必要かもしれない。

委員長：

今回に関しては空欄のままでよいか。

委員：

公共施設の時間延長はD評価になる。

委員長：

Dをつけるのも難しいので、評価不能になる。

事務局：

いくつか項目がある上で関係各課というところは省いてよいが、完全に一項目で関係
各課と書いてあるのを省くわけにはいかないなので、ご議論いただきたい。

委員：

D評価の基準はあるか。

委員：

今までは、報告がなくて空欄のものはDとしている。

委員長：

空欄で何も無いものはDとする。

事務局：

「省エネルギー」と「水循環」は次の計画では外れている。今回対応できないことで
評価は悪くなるが、ご勘弁いただくしかない。

子育ての件だが、庁内で検討したが、子育て支援課から異論はなかった。新しい計画
にも「性と生殖」は残っている。

委員：

その箇所の子育て支援課は残しておいていいのか。

事務局：

組織改正があり、子育て支援センターが新しく出来たので、子育て支援課では手をつ
けていないのかもしれない。女性センターと同じところに新しいセンターが出来て、子
どもの相談や支援を行っている。

委員：

「 に職務が移管した」と書いてくれないとわからないのではないか。

事務局：

この件は所管に確認する。

委員長：

その箇所は文章を修正していただく。先ほどの環境保全課の件も問題提起されており、次回の計画からはずされている。

委員：

評価はどうするのか。

委員長：

評価不能になるのでDとする。各グループからの新しい評価の報告と問題が出されたが、最終的にはどうするか。資料を見ながら、コメントと評価を入れたものを事務局に返し、事務局でまとめるということによいか。

委員：

従来のもので確認している。修正箇所や内容をどう伝えればいいのか。

委員：

全体のファイルがほしい。

委員長：

グループの担当者にファイルを送り、加筆していただく。

事務局：

修正の際は、修正箇所の色を変えていただきたい。

委員長：

修正箇所は赤字とする。期日は、届いてから1週間くらいで記入し、事務局へ返送することとする。

事務局：

子育ての関係のあいまいな表現について確認し、修正して送付したい。

3. 市民説明会について

委員長：

最後に市民説明会について事務局から連絡をお願いします。

事務局：

市民説明会の日程が決定した。12月13日（土曜日）イングビルで午後2時からと、12月17日（水曜日）夕方6時からひばりが丘駅近くの図書館の講座室でそれぞれ1時間半程度行う。都合が付く委員は同席いただきたい。基本的に司会と計画の概要の説明は事務局で行う。市民より質疑があれば、委員の先生方に客観的なご意見をお答えできる分についてお手伝いいただきたい。会議の終わりに委員長か副委員長にあいさつをお願いしたいのでご協力をお願いする。土曜日に委員、水曜日に委員長に来ていただく予定である。

委員：

13日は用事があり最後まで出席できない。どなたかお願いできるか。

委員長：

参加できる人を確認したい。12月13日（土曜日）は、4委員で。12月17日（水曜日）は、4委員ということで、よろしく願います。

事務局：

12月1日から1月5日まで計画案をホームページと市の情報公開コーナー（田無、保谷）、女性センターにて閲覧し、意見をいただく予定である。説明会でも意見をいただきお答えする。その中で盛り込むべき意見があれば、計画の中で盛り込んでいきたい。前回、委員会で案を固めてから、関係する課に照会し、意見をいただいた。配布資料「庁内照会結果に伴う計画案変更箇所一覧」は、所管課の意見により言葉を変更したものである。

委員長：

これについて意見はあるか。担当部署の変更理由が納得できればよいが、よろしいか。

委員：

病児保育と休日保育はどうして変更になったのか、理由がわからない。

事務局：

子育て支援計画の中では、実施に向けた検討しか位置づけがない。担当部署が「検討」であるのに対し、こちらが「実施」というのは踏み込みすぎている。「検討」と表現を変えざるを得ないと判断した。

委員：

計画で目指していることは書いてもよいのではないか。

事務局：

担当部署の計画が「検討」であるのに、別の計画で「実施」というのは整合性が取れない。

委員：

5ヵ年の間に検討が終わるということになるとどうか。

事務局：

個別計画で修正がかかる。この計画の9ページに随時修正可能であることが書かれている。個別計画の中には年次がずれている計画もあるので、進行管理していく中で事業課のほうが踏み込んでいき、そこで評価していくしかない。こちらが上位計画であれば実施と言えるが、並列計画の中で他の計画を干渉するところまで踏み込んで書けないのが実情である。

委員：

実施に向けた検討で、実施しないという方向に進む検討もあるのか。

事務局：

結果としてできないことはあるが、やらない検討はしない。

委員：

そこまでわかっているなら、実施としておいても問題はないと思う。

事務局：

ショートステイは事業の実施でないので、実施に向けた検討と書ける。ここで「実施」とすれば、評価が落ちる。

委員：

検討しているということであれば、そのことを評価に書く。

事務局：

実施というところまでいけるか、行政内部として苦しいところがある。

委員：

他の委員に異論がなければ現状でよい。

委員長：

異論がないわけではないが、病児保育と休日保育は議論が足りていない。どういうかたちで行うか、費用の問題なども絡んでくる。

委員：

これは目指すべき方向である計画だと思うので、何かをするという言い切り方で問題はない。逆にすること自体が「検討」では何も進まない気がする。これまでも「検討」と書いてあり、検討したら評価はAなのか。実施しないが検討することで評価がAというのは、議論がずれているのではないか。

委員長：

何もしないの検討は有り得ない。実施していくための検討である。

事務局：

この5年間で実施できる保証はない。個別計画の中で病児保育、休日保育について検討すると書かれており、載せないと男女平等の視点の支援には結びつかないため、このかたちに落ち着いた経緯がある。実際に休日保育などは、12月29日など年末の忙しい時期も行っているが恒常的ではない。体制面など課題を抱えており、難しいテーマである。

委員長：

お金がかかる問題と、計画上でブレーキがかかっている。今後、課題として検討していかなければならない。

4. その他

委員長：

次回の会議日程は1月14日（水曜日）、イングビルで行う。2月は第2水曜日が休日で、4日か18日となるが、都合がよい人の多い14日とする。

以上で、会議は終了する。

閉会